

目次

所属名称	施策名	事業番号	大事業名称	事業名	評価区分	ページ番号
議会事務局	体系外事業	3	議会管理費	議会経常管理費	簡易	1
議会事務局	体系外事業	6	議会管理費	議会会議システム管理費	簡易	2
議会事務局	体系外事業	10	議会活動費	議会経常活動費	簡易	3
議会事務局	体系外事業	941	監査管理費	監査経常管理費	簡易	4

事業番号	事務事業名	議会経常管理費	所管課名	議会事務局	令和 4 年度課長名	金平 憲明
00003	政策名	6	体系外	係名	議事係	担当者・シート作成者
	施策名	61	体系外事業	根拠法令等	地方自治法、鏡野町議会会議規則等	

1. 事務事業の概要

①事業期間	②今年度の事業内容(具体的な内容、事務概要等を簡潔に記載する)	③開始したきっかけ(いつ頃、どんな経緯で)
<input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返し <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 (年度~ 年度) <input type="checkbox"/> 単年度のみ	・各種組織団体への参画支援、研修会等の実施、議会活動に関する情報収集、資料の作成等の活動支援、議会会議録の作成業務、ライブ配信業務、議会ホームページの運営業務等	・議会活動の支援を行うため

2. 事務事業の対象・意図・活動・施策との関係

①対象(誰、何を対象にしているのか)	④対象指標	単位	区分	2 年度	3 年度	4 年度	5 年度	6 年度
ア 議会議員	ア 議員数	人	見込 実績	14 13	15 14	14 14	14	14
イ 議会事務局職員	イ 職員数	団体	見込 実績	2 2	2 2	2 2	2	2
②意図(対象をどのような状態にしたいのか)	⑤成果指標(意図の達成度)	単位	区分	2 年度	3 年度	4 年度	5 年度	6 年度
ア 積極的な議員発議	ア 議員(委員会)提出議案	件	目標 実績 達成率	10 4 40.0%	10 15 150.0%	10 9 90.0%	10	10 90.0%
イ 本会議・委員会等のライブ・録画配信による情報発信	イ ライブ・録画配信の視聴回数	回	目標 実績 達成率			5,000 4,301 86.0%	5,000	5,000 86.0%
③活動(そのためにどんな活動をするのか)	⑥活動指標	単位	区分	2 年度	3 年度	4 年度	5 年度	6 年度
ア 会議等の開催	ア 本会議・委員会・全員協議会・勉強会等の開催回数	回	目標 実績 達成率	100 112 112.0%	100 106 106.0%	100 82 82.0%	100	100 82.0%
イ 会議等のインターネット配信	イ インターネット配信回数	回	目標 実績 達成率			50 35 70.0%	50	50 70.0%

↓

⑦結果(事務事業を何に結び付けるのか)	
属する施策の対象	属する施策の意図
ア	ア
イ	イ
ウ	ウ
エ	エ

3. 事務事業の予算・コスト概要

予算科目	会計 01		款 01		項 01		目 01		予算上の事業名						事業番号
	一般会計		議会費		議会費		議会費		議会経常管理費						
2 年度 実績	3 年度 実績	4 年度 実績	5 年度 見込	6 年度 見込	前年比	決算 (千円)	2 年度 実績	3 年度 実績	4 年度 実績	5 年度 見込	6 年度 見込	前年比			
国庫支出金						国庫支出金									
県支出金						県支出金									
町債						町債									
その他特財						その他特財									
一般財源	6,283	6,617	6,428	6,874	6,500	-189	一般財源	5,639	5,410	5,848	6,874	6,500	438		
合計	6,283	6,617	6,428	6,874	6,500	-189	合計(A)	5,639	5,410	5,848	6,874	6,500	438		
財源名称	従事正職員人数						2	2	2	2	2				
	延べ業務事務時間						1,410	1,720	1,203	1,400	1,400	-517			
	人件費計(千円)(B)						4,714	5,762	4,115	4,707	4,707	-1,647			
	最終予算額	6,428 千円		予算執行率	90.9%		トータルコスト(A+B)	10,353	11,172	9,963	11,581	11,207	-1,209		

4. 事業評価

対象と意図の見直し余地	成果の向上余地	全体総括(成果・反省点)、左記の評価結果の根拠、改革改善の方向等
適切である	向上余地がある	・特別委員会を設置して、議員定数、議員報酬の見直しを行っている。
方法・手段の改善余地	受益機会・費用負担の適正化余地	
改善余地がある	見直し余地がある	

事業番号	事務事業名	議会会議システム管理費	所管課名	議会事務局	令和 4 年度課長名	金平 恵明	
00006	政策名	6	体系外	係名	議事係	担当者・シート作成者	金平 恵明
	施策名	61	体系外事業	根拠法令等	地方自治法、鏡野町議会基本条例、鏡野町議会会議規則等		

1. 事務事業の概要

①事業期間	②今年度の事業内容(具体的な内容、事務概要等を簡潔に記載する)	③開始したきっかけ(いつ頃、どんな経緯で)
<input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返し <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 (年度~ 年度) <input type="checkbox"/> 単年度のみ	・平成30年4月から本格的に運用に取り組み、ペーパーレス化を図った。	・議会改革の一環として、経費削減、地球温暖化対策に寄与するとともに、議会会議の効率化等を図るため、平成28年度から導入を検討し、視察・調査を経て、平成29年度に端末機を37台整備した。

2. 事務事業の対象・意図・活動・施策との関係

①対象(誰、何を対象にしているのか)	④対象指標	単位	区分	2 年度	3 年度	4 年度	5 年度	6 年度
ア 議会議員、執行部	ア 議会議員、事務局、執行部	人	見込	35	37	37	38	38
イ	イ		実績	35	36	36		
			見込					
			実績					
②意図(対象をどのような状態にしたいのか)	⑤成果指標(意図の達成度)	単位	区分	2 年度	3 年度	4 年度	5 年度	6 年度
ア コピー代を削減する	ア 会議開催数で除した平均コピー代	件	目標	2,200	2,200	2,200	2,200	2,200
			実績	2,352	2,238	2,921		132.8%
			達成率	106.9%	101.7%	132.8%		132.8%
イ 本会議、委員会等で使用する回数を増やす	イ 本会議・委員会・全員協議会・勉強会等の開催回数	回	目標	100	100	100	100	100
			実績	112	106	82		
			達成率	112.0%	106.0%	82.0%		82.0%
③活動(そのためにどんな活動をするのか)	⑥活動指標	単位	区分	2 年度	3 年度	4 年度	5 年度	6 年度
ア 取扱研修会、議員勉強会	ア 研修会、勉強会の開催数	回	目標	1	1	1	3	3
			実績	1	1	1		
			達成率	100.0%	100.0%	100.0%		33.3%
イ 端末機の利用	イ 本会議・委員会・全員協議会・勉強会等の開催回数	回	目標	100	100	100	100	
			実績	112	106	82		
			達成率	112.0%	106.0%	82.0%		#DIV/0!

↓

⑦結果(事務事業を何に結び付けるのか)	
属する施策の対象	属する施策の意図
ア	ア
イ	イ
ウ	ウ
エ	エ

3. 事務事業の予算・コスト概要

予算科目	会計 01		款 01		項 01		目 01		予算上の事業名						事業番号
	一般会計		議会費		議会費		議会費		議会会議システム管理費						
2 年度	3 年度	4 年度	5 年度	6 年度	前年比	決算	2 年度	3 年度	4 年度	5 年度	6 年度	前年比	00006		
実績	実績	実績	見込	見込		(千円)	実績	実績	実績	見込	見込				
国庫支出金						国庫支出金									
県支出金						県支出金									
町債						町債									
その他特財						その他特財									
一般財源	3,470	3,520	3,585	3,440	3,500	65	一般財源	3,301	3,353	3,198	3,440	3,500	-155		
合計	3,470	3,520	3,585	3,440	3,500	65	合計(A)	3,301	3,353	3,198	3,440	3,500	-155		
財源名称	従事正職員人数						2	2	2	2	2				
	延べ業務事務時間						1,410	1,720	1,203	1,400	1,400	-517			
	人件費計(千円)(B)						4,714	5,762	4,115	4,707	4,707	-1,647			
	最終予算額	3,585 千円		予算執行率	89.2%		トータルコスト(A+B)	8,015	9,115	7,313	8,147	8,207	-1,802		

4. 事業評価

対象と意図の見直し余地	成果の向上余地	全体総括(成果・反省点)、左記の評価結果の根拠、改革改善の方向等
適切である	向上余地がある	・令和5年2月7日付で総務省から通知が発出され、既に委員会条例や会議規則を改正して、オンラインを活用した委員会を開催している地方議会が見受けられる。本町議会も委員会のオンライン開催に向けて、調査・検討を始める必要がある。
方法・手段の改善余地	受益機会・費用負担の適正化余地	
改善余地がある	見直し余地がある	

事業番号	事務事業名	議会経常活動費	所管課名	議会事務局	令和 4 年度課長名	金平 憲明
00010	政策名	6	体系外	係名	議事係	担当者・シート作成者
	施策名	61	体系外事業	根拠法令等	鏡野町議会政務活動費の交付に関する条例	

1. 事務事業の概要

①事業期間	②今年度の事業内容(具体的な内容、事務概要等を簡潔に記載する)	③開始したきっかけ(いつ頃、どんな経緯で)
<input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返し <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 (年度~ 年度) <input type="checkbox"/> 単年度のみ	・政務活動費は、条例に基づき議員の調査研究に資するための必要経費として交付するもので、領収書等を添付した報告書を確認し年度末に一括交付する。金額は月額1万円が上限。 旅費は、公務による陳情・視察研修等の経費、議会活動を行うために要する経費。費用弁償は支給しない。 ・議会だより「かしの木」の発行(年4回、16ページから20ページ程度)	・地方自治法に基づき、町条例で政務活動費を位置付け、議員活動に要する必要経費の支給を規定した。 ・開かれた議会を目指し、令和元年9月から議会だより「かしの木」の発行を始めた。

2. 事務事業の対象・意図・活動・施策との関係

①対象(誰、何を対象にしているのか)		④対象指標		単位	区分	2 年度	3 年度	4 年度	5 年度	6 年度
ア	議会議員	→	ア	人	見込	14	15	14	14	14
イ		→	イ		実績	13	14	14		
					見込					
					実績					
②意図(対象をどのような状態にしたいのか)		⑤成果指標(意図の達成度)		単位	区分	2 年度	3 年度	4 年度	5 年度	6 年度
ア	議会議員の活動を円滑にする	→	ア	%	目標	100	100	100	100	100
					実績	82	75	70		
					達成率	82.2%	75.1%	70.0%		70.0%
イ	町民へ議会活動を分かりやすく伝え、関心を高める	→	イ	回	目標	4	4	4	4	4
					実績	4	5	4		
					達成率	100.0%	125.0%	100.0%		100.0%
③活動(そのためにどんな活動をするのか)		⑥活動指標		単位	区分	2 年度	3 年度	4 年度	5 年度	6 年度
ア	政策立案や課題解決に関する研修会等に参加し資質向上を図る	→	ア	人	目標	14	14	14	14	14
					実績	3	1	4		
					達成率	21.4%	7.1%	28.6%		28.6%
イ	会議等の開催	→	イ	回	目標	100	100	100	100	100
					実績	112	106	82		
					達成率	112.0%	106.0%	82.0%		82.0%

↓

⑦結果(事務事業を何に結び付けるのか)	
属する施策の対象	属する施策の意図
ア	ア
イ	イ
ウ	ウ
エ	エ

3. 事務事業の予算・コスト概要

予算科目	会計 01		01 款		01 項		01 目		01 大事業		01 中事業		予算上の事業名				事業番号
	一般会計		議会費		議会費		議会費		02		01		議会経常活動費				
予算(千円)	2 年度実績	3 年度実績	4 年度実績	5 年度見込	6 年度見込	前年比	決算(千円)	2 年度実績	3 年度実績	4 年度実績	5 年度見込	6 年度見込	前年比				
国庫支出金							国庫支出金										
県支出金							県支出金										
町債							町債										
その他特財							その他特財										
一般財源	3,510	5,700	5,557	6,688	5,500	-143	一般財源	2,783	2,383	3,494	6,688	5,500	1,111				
合計	3,510	5,700	5,557	6,688	5,500	-143	合計(A)	2,783	2,383	3,494	6,688	5,500	1,111				
財源名称							従事正職員人数	2	2	2	2	2					
							延べ業務事務時間	1,800	1,800	1,800	1,800	1,800					
							人件費計(千円)(B)	6,017	6,030	6,158	6,052	6,052	128				
	最終予算額	5,557 千円		予算執行率	62.8%		トータルコスト(A+B)	8,800	8,413	9,652	12,740	11,552	1,239				

4. 事業評価

対象と意図の見直し余地	成果の向上余地	全体総括(成果・反省点)、左記の評価結果の根拠、改革改善の方向等
適切である	向上余地がある	・政務活動費交付条例を一部改正し、公正さと透明性を担保するため事後払い方式とし、不適正支出の返還を求められることができる規定を追加した。 ・議会だよりの記事内容、文字の大きさ、見出しの工夫等、紙面構成の見直しを検討していく。
方法・手段の改善余地	受益機会・費用負担の適正化余地	
改善余地がある	見直し余地がある	

事業番号	事務事業名	監査経常管理費	所管課名	議会事務局	令和 4 年度課長名	金平 憲明
00941	政策名	6 体系外	係名	監査事務係	担当者・シート作成者	金平 憲明
	施策名	61 体系外事業	根拠法令等	地方自治法、鏡野町監査委員条例、鏡野町監査基準		

1. 事務事業の概要

①事業期間	②今年度の事業内容(具体的な内容、事務概要等を簡潔に記載する)	③開始したきっかけ(いつ頃、どんな経緯で)
<input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返し <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 (年度~ 年度) <input type="checkbox"/> 単年度のみ	・監査委員の監査業務に要する経費の支出 ・県下12町村で組織する協議会で、委員活動に関する情報収集、研修等の実施、議会の活動支援、運営指導、委員研修会の開催等	・平成17年3月に条例を制定し、開始した。 ・県内町村議会の連絡調整、議会活動の支援を行うために協議会が設置された。

2. 事務事業の対象・意図・活動・施策との関係

①対象(誰、何を対象にしているのか)	④対象指標	単位	区分	2 年度	3 年度	4 年度	5 年度	6 年度
ア 監査委員	ア 監査委員数	人	見込 実績	2 2	2 2	2 2	2	2
イ 監査委員事務職員	イ 職員数	人	見込 実績	2 2	2 2	2 2	2	2
②意図(対象をどのような状態にしたいのか)	⑤成果指標(意図の達成度)	単位	区分	2 年度	3 年度	4 年度	5 年度	6 年度
ア 監査委員及び事務補助職員の資質の向上	ア 研修会等参加回数	回	目標 実績 達成率	4 2 50.0%	4 1 25.0%	4 1 25.0%	4	4 25.0%
イ	イ		目標 実績 達成率					
③活動(そのためにどんな活動をするのか)	⑥活動指標	単位	区分	2 年度	3 年度	4 年度	5 年度	6 年度
ア 監査の実施	ア 一般監査、出納検査、特別監査、決算審査等の所要日数	日	目標 実績 達成率	23 23 100.0%	23 23 100.0%	23 25 108.7%	25	25 100.0%
イ 議会への出席	イ 本会議、委員会への出席日数	日	目標 実績 達成率	3 3 100.0%	3 3 100.0%	3 3 100.0%	3	3 100.0%

↓

⑦結果(事務事業を何に結び付けるのか)	
属する施策の対象	属する施策の意図
ア	ア
イ	イ
ウ	ウ
エ	エ

3. 事務事業の予算・コスト概要

予算科目	会計 01		款 02		項 06		目 01		予算上の事業名						事業番号
	一般会計		総務費		監査委員費		監査委員費		監査経常管理費						
2 年度 実績	3 年度 実績	4 年度 実績	5 年度 見込	6 年度 見込	前年比	決算 (千円)	2 年度 実績	3 年度 実績	4 年度 実績	5 年度 見込	6 年度 見込	前年比			
国庫支出金						国庫支出金									
県支出金						県支出金									
町債						町債									
その他特財						その他特財									
一般財源	262	262	262	249	260	一般財源	82	82	87	249	260	5			
合計	262	262	262	249	260	合計(A)	82	82	87	249	260	5			
財源名称	従事正職員人数						2	2	2	2	2				
	延べ業務事務時間						80	80	80	100	100				
	人件費計(千円)(B)						267	268	274	336	336	6			
	最終予算額		262 千円	予算執行率		33.2%	トータルコスト(A+B)		349	350	361	585	596	11	

4. 事業評価

対象と意図の見直し余地	成果の向上余地	全体総括(成果・反省点)、左記の評価結果の根拠、改革改善の方向等
適切である	向上余地がある	・コロナ禍のため、町村監査委員全国研修会には参加しなかった。 ・不適正な業務執行を未然に防止するため、監査事務を一層強化する必要がある。
方法・手段の改善余地	受益機会・費用負担の適正化余地	
改善余地がない	公平・公正である	